

ねいの里 ホオホオニュース



日	テーマ	場所	定員	時間
4/20(日)	春の生き物と出会う (ロシア渡り鳥交流・春季)	五箇山方面	なし	9:00~15:00
5/11(日)	バードウォッチング (富山県・日鳥連 富山支部 共催)	呉羽山	なし	8:00~12:00
6/14(土)	囲炉裏とヘイケボタル観賞 (自然塾の会共催)	ねいの里	なし	18:30~20:30
9/14(日)	中秋の名月とクソフムシを愛でる	ねいの里	なし	18:30~20:00
10/11(土)	キノコ狩りとキノコ汁を愛でる	ねいの里	300名	9:00~13:00
12/7(日)	キノコづくりとトライ	ねいの里	30名	9:00~11:00
1/4(日)~6(火)	春の七草を愛でる(七草の頒布)	ねいの里	200セット	9:00~17:00

生き物セミナーとピオトープづくり

6/7(土)	生き物との共生セミナーと水辺のピオトープづくり (自然塾の会 共催)	定員: なし 場所: ねいの里	9:30~13:00
7/6(日)	楽しいクマ学と生き物観察とピオトープづくり 富山県ナチュラリスト養成講座		10:00~15:00
10/4(土)	外来種除去 (自然塾の会 共催)		9:30~13:00

特別展示

テーマ	期間	テーマ	期間
日鳥連富山県支部写真展	4/10(水)~ 5/14(水)	ねいの里キノコ写真展	9/1(月)~ 10/22(水)
愛鳥ポスター展	5/17(土)~ 6/23(月)	ネイチャーフォト展1 ナチュラリスト協会写真展	10/24(金)~ 11/19(水)
環境月間ポスター展	6/30(月)~ 7/28(月)	春の七草実物展	12/8(月)~ 1/14(水)
自然保護協会 環境写真展	8/1(金)~ 8/31(日)	ネイチャーフォト展2 自然塾の会写真展	11/21(金)~ 3/18(水)
県内のカブト・クワガタ・淡水魚展	7/18(金)~ 8/31(日)		

ジュニアナチュラリスト関連行事

有峰の自然を探る (アサギマダラ等調査)	9月7日(日)		
-------------------------	---------	--	--

活動をふりかえり

スノーシューとカンジキハイキング 2月2日

2月の自然塾行事として、園内のスノーシューとカンジキハイキングが行われました。今年は雪が少なく、長靴だけでも歩ける程度でした。参加者は約20名でスノーシューやカンジキが初めて人も多く、まずは装着講習会から始まりました。装着後は、段歩くことの出来ない、林の中を楽しく散策しました。



里っこ山っこ 「エナガ」

にっこにこ

ジュニアナチュラリスト 中田達哉

私は春季の9日間ねいの里でお手伝いをさせていただきました。

3月ということもあって寒かったです。この時期はホクリクサンショウウオやヤマアカガエルの繁殖シーズンでもあり成体や卵をたくさん観察することができました。また、マルバマンサクやキンキマメザクラの花も咲いており、春の風が着々とねいの里を満たしていることを目で感じ取ることができました。



本州のエナガは頭に黒い線が入る。



北海道のエナガは頭に黒い線がない。

この間何種類かの鳥も観察することができました。その中でもエナガとアオゲラに会えた事がとてもうれしかったです。

自分は現在北海道に在学しているのですが、北海道ではエナガは亜種のシマエナガが分布しており、アオゲラは分布していません。そんなこともありこの2種に出会えて本当にうれしかったです。

今度はいつ帰ってこられるか分かりませんが、その時もねいの里でフィールドワークをすることができたら良いと思います。

エナガについて

日本全国で見られるとてもポピュラーな鳥。本州のエナガは頭部に黒い線が入るが、北海道に棲む亜種シマエナガは黒い線が入らない。そのため北海道では Snow ball(雪玉)や Snowman(雪だるま)と言う愛称で呼ばれています。

自然塾の会

(ねいの里ホームページで活動紹介しています。)

毎月第1土曜日が活動日です。

塾の会活動日の参加予約はいりませんが、ねいの里との共催行事は予約が必要です。

お気軽にねいの里へお越しください！ (都合のよい時間だけの部分参加も歓迎です。)

昼食は各自ご持参ください、炭焼き小屋の囲炉裏をかこんで食べましょう。

5月4日(日)	6月7日(土)	6月14日(土)
○ 午前9時～ 新緑の自然を訪ねて(遠足会) ねいの里～平等～猫坂峠～ねいの里＝約7kmを歩きます。	○ 午前10時～11時半 野生鳥獣との共存について考える 野生鳥獣との共存に関するお話の後 自然観察と園内整備を行います。	○ 午後6時30分～ 囲炉裏とヘイケボタルの鑑賞 ヘイケボタルを鑑賞しながら、 囲炉裏を囲みます。
参加者/定員なし	参加者/定員なし	参加者/定員なし

■ お願い ■

新年度の会員継続手続きをお願いしています。

～ねいの里行事案内～

■ バードウォッチング(第62回愛鳥週間行事)

5月11日(日) 8:00～12:00【呉羽山一帯】
集合時間・場所 8時に富山市安養坊の八幡社
呉羽山から八ヶ山にかけて探鳥会を実施する。
(参加自由 小雨決行)

■ ギフチョウを守ろう

ねいの里では、ビオトープ事業の一環として、ギフチョウの保全に取り組み、里山では県内でも重要な生殖地となっています。しかし残念ながら、今年心ない人に、ギフチョウの卵がカンアオイの株毎盗まれてしまいました。会員の皆さん、廻りの人にギフチョウ保護の大切さを知らせ、ギフチョウの誘拐防止に協力しましょう。

■ 春からはナチュラリストの自然解説で野外観察 たのしさ倍増!

4月27日からの土日・祭日の10:00・13:30・15:00～を予定しています。
展示館前から出発しますので、是非、ねいの里へおこしください。

発行 生き物ふれあい自然塾 塾長 湯浅純孝

〒939-2632 富山県富山市婦中町吉住1-1 自然博物館ねいの里内

Tel 076-469-5252 / メールアドレス shizen@toyamap.or.jp

ホームページ <http://www.toyamap.or.jp/shizen/>

ふくろう通信

第9号

2008年5月10日

生き物ふれあい自然塾



今日のふくろう先生

長谷川 寛さん(ナチュラリスト)

「春は素晴らしい」

～新しくねいの里に勤務しました

自然塾の会も担当します～



こんにちは、4月から「ねいの里」に勤務します長谷川です。週に2～3日程度勤務しますので、皆さん気軽に声をかけて下さい。さてテーマの「春は素晴らしい」の意味ですが、人も植物も寒い冬を耐えて、3月に入ると、ねいの里は植物や動物が動き始めます。残雪の中のマンサク、雪解け直後のショウジョウバカマ、日当たりのカタクリ等、又生き物は、ホクリクサンショウウオの産卵、オタマジャクシ、カタクリに吸蜜するギフチョウと一日一日と増えて行きます。その中にはあまり見たくない「長い生き物」も出会う機会もあります。又空の鳥は子育てを控えて、地鳴きから美しいさえずりに変わります。ねの里に勤務し、この様に毎日の里山が美しく衣替えして行くのを見ながら「やはり春は素晴らしい」と感じる日々です。

サラリーマン時代は、プラント相手の仕事であり、日々の変化は無く、感動を感じる機会は大変少ない生活でした。今のように、カメラを持ちながら、毎日の自然の変化を見ていると落ち着いた気持ちになります。

会員の皆さん、ねの里に通って季節の衣替えを観察して下さい。又皆さんの廻りにも、花壇や畑等、自然の変化を感じる場所が多くあると思いますので、是非腰を下ろしてじっくり観察してみたいかがでしょうか。

自然情報

カタクリとギフチョウ	ユキグニミツバツツジ	クロツグミ
今年もカタクリがきれいに咲きました。ギフチョウは昨年より5日遅く4月2日に姿を見せました。	5月の連休頃園内はミツバツツジが咲き誇ります。	館内に迷い込んだクロツグミです。野鳥も冬鳥から夏鳥へ入れ替わって行きます。